

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	鬼の館		■担当係	鬼の館
■評価事業名称	講座・体験学習会実施事業			
■事業開始年度	平成12年度			
■評価事業コード	418300 - 005	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	03 社会教育機能の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	市民一人ひとりの鬼に対する認識と関心を深める。親しみやすい創作活動や、地域文化の紹介と体験、より詳しい鬼に関する講座などを開催する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	鬼ZZプレイミュージアム	一般市民	●和紙面作り(通年)300人 ●夏冬休みワークショップ回数6回 参加者数70人 ●鬼ZZの日回数12回 参加者数250人	●和紙面作り(通年)43回 257人 ●夏冬休みワークショップ回数 5回 参加者数49人 ●鬼ZZの日回数 12回 参加者数404人
02	鬼学講座	一般	●講座回数 2回 ●受講者数 30人	●講座回数 0回 ●受講者数 0人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
03	鬼っ子わんぱく講座	市内の小学校に通学する児童と市内の未就学児	①こどもの日わくわくイベント開催 1回 参加者数800人 ②夏のわんぱく講座(鬼剣舞体験) 開催6回 参加者16人 ③冬の鬼っこわんぱく講座(鬼剣舞体験) 開催6回 参加者16人	●こどもの日わくわくイベント開催 1回 参加者数827人 ●夏のわんぱく講座(鬼剣舞体験)開催 6回 参加者数 13人(登録者) ●冬の鬼っこわんぱく講座(鬼剣舞体験)開催 6回 参加者数 11人(登録者)
04	専任研究員設置	鬼の館	●専任研究員2名の雇用、鬼ZZプレイミュージアムやわんぱく講座の企画運営、鬼の館だよりの刊行年2回	●専任研究員2名雇用 鬼ZZプレイミュージアムやわんぱく講座の企画運営、鬼の館だよりの刊行 年2回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	355	4,529	4,639	4,020	
人件費	8,550	7,366	3,697	4,066	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	8,905	11,895	8,336	8,086	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	講座学習会開催回数	65回	60回	48回	66回	鬼ッズプレイミュージアム、鬼学講座、鬼っこわんぱく講座の開催回数の総計
02	講座学習会のべ利用者数	1,681人	1,722人	1,423人	1,561人	上記講座のべ利用者数(わんぱく講座は登録者数)
03	1回当たりコスト(千円)	137.0	198.25	173.66	122.52	フルコスト÷01指標
04	1人当たりコスト(千円)	5.29	6.90	5.85	5.18	フルコスト÷02指標

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

ほとんどの事業が目標回数と参加人数を達成することができた。

問題点・課題等

わんぱく講座の補充人員が夏・冬季どちらも定員に達しなかった。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

わんぱく講座のPR活動を積極的に行う。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了